

第88号

編集・発行  
行田市自治会連合会  
広報部会

# 自治連だより

## 自治会の役割について

行田市自治会連合会

会長 小池 利昌



自治会は全世帯加入が重要です。たとえば地域のなかに公園があるとします。その公園を気持ち良く利用するには、誰かが手入れをしなければなりません。

そうしなければ、たちまち雑草やゴミだらけになってしまいます。

そういった問題の解決を自治会が行っております。

人はお互いに協力しないと生きていきません。

自治会は、時代と地域環境によってさまざまですが、その地域に発生する問題に対処することが要求されます。

しかし、近年、地域で暮らすためのインフラ整備が進み、公的な社会保障や保険制度が充実していくことで、隣人に依存しなくても生活できるようになりました。

そういった状況が進むことで、地域で住民が孤立し、孤独死や地域の安全性の低下

などを招くのです。こうした問題を解決していくのが、自治会の役割だと考えております。

本年度もその役割を果たすため、新型コロナウイルス感染症の影響で自治会活動が制限される状況ではありますが、各自治会が一丸となり、より住みよい地域となるように尽力してまいりますので、各自治会に温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 令和3年度 事業計画《重点実施事項》

- (1) 市民の防災意識を高めるために、みんなで考え創造する地区防災事業を実施する。
- (2) 敬老事業を実施する。
- (3) 研修のあり方について検討する。

## 地区連合会長紹介

忍地区	栗原 光夫	(本丸)
行田地区	小池 利昌	(一本町)
佐間地区	長岡 幸雄	(二佐間)
持田地区	江原 史郎	(三持田東部)
星河地区	河辺 孝幸	(第一斉条)
長野地区	横田 範博	(三桜北部)
荒木地区	羽鳥 富雄	(荒木上宿)
須加地区	蓮 文雄	(須加第十区)
北河原地区	木島 良二	(里前)
埼玉地区	萩原 実	(富士山西)
星宮地区	羽鳥 嗣郎	(中里)
太井地区	栗原 三郎	(第三門井)
下忍地区	山口 善次	(樋上区)
太田地区	高鳥 和子	(小針)
南河原地区	今村 定夫	(南河原一区)

行田市自治会連合会組織紹介 ～各部会員と取組みを紹介します～

会長

小池 利昌 (一本町)

顧問

阿久津彰男 (前連合会長)

副会長

河辺 孝幸 (第一斉条)

高鳥 和子 (小針)

羽鳥 嗣郎 (中里)

栗原 三郎 (第三門井)

総務部会

主な取組み

○単位自治会、連合会についての調査研究

○自治会Q&Aの作成

部会長

栗原 三郎 (第三門井)

副部会長

栗原 光夫 (本丸)

部会員

羽鳥 富雄 (荒木上宿)

蓮 文雄 (須加第十区)

萩原 実 (富士山西)

山口 善次 (樋上区)

橋本 恭一 (二本町)

鈴木 清司 (一佐間)

渡辺 暁 (持田五丁目)

山田 喜正 (第一谷郷区)

風間 孝夫 (富士見西部)

正田 昭一 (酒巻下)

中島 丈一 (皿尾)

松井 晃 (関根)

村田興利吉 (中江袋)

研修部会

主な取組み

○研修について研究をして理解を深める。

部会長

高鳥 和子 (小針)

副部会長

江原 史郎 (三持田東部)

部会員

今村 定夫 (南河原一区)

蟻川 裕 (矢場二丁目)

中田 浩 (向友会)

橋本 好司 (二持田第二)

岩永 照夫 (第二谷郷新田)

尾上 龍夫 (富士見東部)

小山 正夫 (荒木第一区)

須加 和隆 (須加第五区)

諸貫 達也 (下埼玉)

中川 俊雄 (深水町)

広報部会

主な取組み

○自治連活動に関する広報  
○自治連だよりの編集・発行  
(9月・3月)

部会長

河辺 孝幸 (第一斉条)

副部会長

木島 良二 (里前)

部会員

海野 隆夫 (第二旭)

寺田 正彦 (一持田南)

小林 訓安 (三持田大宮口)

高鳥 茂夫 (林区)

高澤 克芳 (大下区)

黒崎 富雄 (押上町)

気賀 孝 (下忍区)

小川勢津雄 (下須戸)

防災部会

主な取組み

○自主防災活動の促進  
○防災訓練の効果的実施  
○自主防災組織の防災資機材の充実

○災害時緊急連絡網の構築

部会長

羽鳥 嗣郎 (中里)

副部会長

長岡 幸雄 (二佐間)

横田 範博 (三桜北部)

部会員

安原 一夫 (矢場区)

茂木 孝雄 (前谷)

中込 廣治 (東台)

青池 英洋 (堀の内)

本望 英子 (棚田町)

金子 隆行 (若小玉六本木)



自治功労者表彰

定期総会が中止となったことから、事務局により表彰対象者の自宅訪問等を実施し、自治会に対する功労顕著な方10名を表彰いたしました。  
また、行田市自治会連合会の運営発展に尽力された方14名に感謝状を贈呈いたしました。

表彰状

◎自治会長として

10年以上在職の方

加藤 均夫 (第一谷郷)

感謝状贈呈

◎行田市自治会連合会の運営発展に尽力された方

清水善太郎 (持田地区)

茂木 完夫 (持田地区)

加藤 均夫 (星河地区)

廣田 武司 (長野地区)

小林 敏信 (荒木地区)

早乙女守弘 (荒木地区)

須加 正 (須加地区)

金子 雅英 (須加地区)

鈴木 栄三 (北河原地区)

小林 栄 (北河原地区)

成瀬 衛 (太井地区)

石郷岡 穠 (太井地区)

惣川 正気 (太井地区)

小倉 晴美 (太田地区)

◎副会長として

10年以上在職の方

岸田 昌久 (二本町)

細見 隆裕 (八幡町)

小林 正之 (佐間三間)

松本 繁夫 (二持田蔵場)

小菅 行雄 (中斉)

鈴木 輝夫 (中斉)

木元 信一 (荒木第五区)

◎副会長・会計として

10年以上在職の方

伊藤 良和 (北谷区東町)

小菅 恵一 (二桜)





# 新任自治会長所感

## 自治会長に就任して

持田地区  
前谷自治会

会長 茂木 孝雄

前谷はJRの駅に近く、若者の転入増加で高齢化率は低いと思われず。

自治会長に就任し、第一回理事会に出席いたしました。多くの皆様のご協力のおかげで、高年齢者雇用安定法や年金法の改正で健康寿命の延びと重なるように高齢でありながら、就労しなければならぬ現実があります。

近い将来、自治会長交代の難しさや不安が浮き彫りになってくるものだと感じました。

また、行政は自治会長の仕事量の見える化、その一方で自治会業務の数量化をし、持続可能な自治会とはいかなるものか検討するときに来ているものだと思います。

なお、行政が持続可能な自治会像を検証し続けている苦勞を見たような気がいたしました。

## 自治会長に就任して

荒木地区  
上宿自治会

会長 羽鳥 富雄



令和三年度から、荒木上宿自治会長及び荒木地区自治会連合会長に就任いたしました。わからないことだらけです。

行田市や地区から届く書類の数々、会議の案内、推薦職と、コロナ禍ではあります。行事の多さに驚きました。

しかし、私にできる事はほんの一部でした。自治会は副会長、会計、班長など多くの役員の協力により運営されており、地域は公民館を中心に自治会、小中学校、体協、消防団、他各団体の努力の上に成り立っています。

## 自治会長に就任して

埼玉地区  
杉原自治会

会長 富田 久雄



令和3年4月より、埼玉杉原自治会長に就任いたしました。富田久雄です。

新型コロナウイルス感染症により昨年度同様、今年度の事業についてもことごとく中止のお知らせとなく、誠に残念であります。

現在、杉原自治会としては、行田市及び各種団体からのお知らせ、配布物の配布が主な役割となっております。

また、自治会員の皆様にはごみ集積所の管理にもご尽力いただいております。毎月第一日曜日には、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりといたうえ

で、班長会議を実施しております。各班からの意見や要望等をお聞きできる貴重な時間となっております。

現在のコロナ禍の状況が一日も早く収束し、以前のように各事業が開催され住民の皆様により良い交流がなされることを願っております。

## 編集後記

新任自治会長研修が延期となり、編集作業にも影響しましたが、皆様のご協力で発行することができ感謝いたします。

コロナ禍で生活や活動が制約を受けている現状はまだまだ続くと思います。手洗い、消毒、マスク着用の基本動作や三密回避等の感染予防対策は欠かせませんが、知恵を出し工夫をして「ウィズコロナ」で色々なことが少しでも再開していくことを望みます。

広報部会副部長  
木島良二

実施し、自治会運営に関する疑問点や不明点を洗い出して改善策等をまとめた冊子を作成いたします。

②の自治会加入率向上については、高齢化社会と核家族化等の影響で自治会加入率が減少傾向にある現状を分析し、改善策を検討することにより自治会加入率向上を目指します。

自治会は地域に住む住人同士が協力し合って住みやすく安心な地域づくりを目指す自主的任意団体です。夏祭りや運動会等の地域の親睦活動、子供達の見守りやパトロールによる防犯活動、災害等を想定した防災活動、ごみ問題を中心とした環境活動、市報等の配布や回覧による行政の広報活動、共同募金などの社会福祉活動等、多くの方の協力により運営されています。

こういった点を踏まえて、地域の方々に自治会活動のPRをすることで、自治会の仲間を増やすことに繋がり、地域の安心安全と住みやすい街を作ると信じております。

皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。